

週刊

こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎(752)0453 植田 進 ☎(487)9754
いはら 忠 ☎(488)7207

発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5
☎(483)1151

秋葉市政の予算案を斬る

2月21日（土）日本共産党市議団は恒例の予算案の学習会を開きました。参加者は30名で活発な意見交換が行われました。

予算案の特徴と市民への影響について、堀口議員から報告があり、秋葉市政の2年目の新年度の予算は、国からの締め付けを明らかにせず、ハコモノ・開発による借金のつけ（財源不足）を、市民に押しつける特色がはっきりと見て取れる予算編成となっています。

当初計画していた東消防署の移転事業などを繰り延べ、新川ハコモノ事業の終了にともない普通建設事業費などの減で前年度比41億円減額されたものの、市債等の借金を返済するために21億円もの財源が不足するとして、受益者負担の名のもと、公共施設利用料の有料化、各種保険料の大幅値上げなど市民負担増のオンパレードです。



予算学習会で報告する党市議団

突然の補助金カットに市民からの怒りの声

補助金の削減や利用料・使用料の値上げ・有料化は、市民との話し合いは全く行われていません。まさに寝耳に水で、啞然としてしまいます。800億円の借金が短期間で解消されるはずもないのに、「持続可能な市政運営のための立て直し戦略（2か年のプログラム）」と宣言して、あたかも2か年で立て直しができるかのようなポーズで着手したのが今回の予算案です。ここには長期展望は全くなく、とりあえず手っ取り早く市民負担を押し付けているだけです。

秋葉市長は自らが議員の時には、「ハコモノの維持運営に6億円はかかる、その財源の根拠は」とハコモノに反対していたにもかかわらず、今はそれを平気で推進、市民には途中の経過も正確な情報も流さず、闇討ちのように行革を進めています。

市長公約にも反する暴挙

学習会に参加した方から、次々と発言が寄せられました。

☆新川ハコモノ凍結、国民健康保険料引き下げなどの公約にも反する

☆「財政非常事態」がいつまで続くのか、いつまで我慢すれば財政が好転するのかの展望を示してほしい。

☆800億円を超える借金をどうやって返済していくのか

☆10年で増やしたものを秋葉市長の2年で解決しようというのが土台無理

☆国民健康保険料・介護保険料の大幅値上げで、高齢者にとって死活問題

☆介護保険に対する国の支援こそ増やすべきで国に意見をあげるべき